



近つ飛鳥

令和6年12月24日
学校だより冬休み号
河南町立近つ飛鳥小学校

2学期を振り返って

校長 鍵谷 直毅

日本各地から冬の便りが届き、一段と寒さが厳しくなる中、令和6年も残り僅かとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校教育にご理解とご支援を頂き、本日無事に2学期終業式を迎えることができましたことに感謝申し上げます。

年の瀬の風物詩となっている今年の漢字が、12月12日（漢字の日）に公益財団法人日本漢字能力検定協会より発表され、今年の漢字は、1位が「金」で、2位「災」、3位「翔」、4位「震」、5位「新」、.....となったそうです。毎年のことですが、発表された漢字は、その年の世相が強く反映されており、今年は、オリンピックが開催され、日本選手が多くの金メダルを獲得したことやお金に関する話題が多かったこと、元旦に能登半島地震が起こったことや南海トラフ地震臨時情報が発表されたこと、大谷翔平選手の活躍や新紙幣の発行などが上位の漢字が選ばれた理由になっているようです。令和7年は、楽しかったことや幸せなことが振り返れる漢字が並ぶ1年になれば良いですね。

さて、本校の2学期を振り返ると、2学期は、近りんぴっく（運動会）、修学旅行、アスカーニバル（縦割り班での活動）、遠足や社会見学などを始めとする様々な行事があり、それぞれの行事に向けた事前の取り組みや当日の活動の中で、子どもたちが一生懸命頑張る姿をたくさん見ることができました。うまくいかないことや失敗もたくさんありましたが、それを乗り越えて最後まで粘り強く頑張った子どもたち。頑張った分だけ2学期も確かな成長がありました。また、仲間とともに協力し支えあって活動することにより繋がりを深めることができたことも本当に嬉しく思います。ご家庭でも、子どもたちの頑張りや成長を評価していただき、次の頑張りへと繋げていただければと思います。

明日から14日間の冬休みが始まります。子どもたちが楽しみにしているクリスマスやお正月などのイベントに加えて、大掃除や年始の挨拶などの日本の風習や日本の伝統文化に触れる機会も大切なことだと思います。各ご家庭とも充実した有意義な冬休みをお過ごし下さい。

それでは、皆様よいお年をお迎えください。